

避難時に参考にしていただきたい Q&A

大規模災害発生後や、厳しい環境で避難生活を送られている飼い主様のご心配を少しでも減らせるように…との思いから、Q&Aを作成しました。

あくまでも一例であり、全てのご心配の解決にはなりません、参考にしていただけると幸いです。

1. 緊急地震警報がなるたびに犬が怖がって吠えます。どうしたらいいですか？

警報がなっているときに、吠えるのを止めさせるのは難しいかもしれませんが、揺れがおさまったら、優しく「大丈夫」と言いながら、好きなおやつを与えてください。



「吠えたことに対しておやつを与えるのは問題ではないか」と思われる方も多いのですが、不安で吠えているので、好物の食べ物を与えることで、「おやつでも食べて落ち着いてね」と伝えることになるため、問題はありません。

2. 地震におびえた猫がずっと隠れて出てこなくなりました。大丈夫でしょうか？

いつまた余震が来るかわからないので、不安なのだと思います。無理に引きずり出したりせずの様子を見てください。

隠れている場所の近くにご飯とお水を用意して、隠れながら食事ができるようにしてもよいと思います。トイレも近くにもって行ってあげてもよいでしょう。本人が大丈夫と思ったすきを狙って排せつなどしてくれるようになります。余震が落ち着いたなら、少しずつ安心すると思います。



3. 地震でいつも散歩する道が損壊し、危険な状態の場所もあり、いつも通りにお散歩に行くことができません。ストレスが溜まってしまわないか心配です。散歩は必ず1日2回行かないといけないのでしょうか？

無理にお散歩に行かなくてもかまいません。ドライフードやおやつを家の中に少し隠して家の中で宝探しをさせたり、安全な場所を一回りしながら、おやつを使って「おすわり」、「おいで」、「まで」など、ワンちゃんの知っているトレーニングをやりながら、人と楽しく短距離のお散歩をしていただく事で今は十分です。



4. ドッグフード、キャットフードがなくなっているのに、人の食べ物を与えて 買い物ができるようになるまでしのごうと思っています。 何を食べさせておいたらいいですか？

支援物資としてペットフードが入手できるのであれば、ペットフードを食べさせておくのが安心です。しかし、手に入らない場合もあると思いますので、ペットフードが手に入らず、限りある人の食べ物しかない場合の情報になります

栄養価には問題はあるものの、食欲を満たすためであれば、犬では、配給されるご飯やパン（惣菜パンを除く）の他、うどんやパスタなどゆでることが可能であれば、与えても支障はありません。

人の支援物資（お弁当等）に含まれるタンパク質（肉や魚）も、火を通したものであれば骨に気を付けて与えることが可能です。

味が濃いものはできれば避ける方が望ましいのですが、フードが全く入手できないのだとしたら、暫定的に与えたとしても、ただちに健康被害が生じることはありません。

ただし、与えてはいけない食品として「ネギ類」、「にんにく」、「ブドウ」、「チョコレート」、「刺身」、「甲殻類」は避けてください。

また、特定の食材にアレルギーがある場合は、それも除きます。

猫については、食べなれたキャットフード以外を食べてくれるかどうか、犬と比較してハードルが高いと思いますが、動物病院などで療法食が入手できれば、与えてみる、犬と同様に人の支援物資（お弁当等）に含まれるタンパク質（肉や魚）も、火を通したものであれば骨に気を付けて与えることが可能です。



5. 避難から一週間ほど経ったのですが、食欲がなくなっています。 支援物資のフードが口に合わないのかもしれませんが。

入手できるフードを水でふやかしてみたり、少し温めて与えてみます。
飼い主の手から少しずつ与えてみるのも一案です。
ストレスによる食欲不振なのか、体調に問題がないか、
獣医師に診せることが可能であれば、
受診していただくことをお勧めします。



まず、できる事として、大好きなおやつをあげてみてください。
食べますか？
手からあげたり、遊びながら、楽しい時に使っていたような話し
方で、話しかけながら与えてみてください。

ご家族の心配な様子や不安な様子から不安になっている可能性もあるので、あ
えて遊びながら食事を与えるようなことをしてみてください。

6. 避難所にペットを同行して避難しています。 おとなしくしてくれているので助かるのですが、元気がなく寝てばかりいます。

食欲はありますか？ 大好きなおやつをあげたら食べますか？
やってみられることとして、あえて高い声を出したりして、
いつものように遊びに誘ってみてください。



反応しますか？

大好きなものも食べない場合は、体調不良の可能性もあるため
可能であれば獣医師の診察を受けることをお勧めします。

人が混乱して不安な時、動物も不安になるので、あえて明るく接したときに
反応を見ていただき、元気よく遊びの誘いに乗るかどうかを確認してください。

7. 避難所のケージにずっと入れておくのはかわいそうなので、 自家用車の中にいさせていますが大丈夫でしょうか？



車の中の動物の様子が見られ、中で危ない状態にならないのであれば、普段か
ら使っている自動車の中に避難させておくのは悪いことではないと思います。

ただ、何かの拍子にほかの方が車のドアを開けて犬猫が逃げてしまうと困るの
で、車の中に動物がいることが分かるように記載しておくとうよいと思います。
また、必ず動物たちの様子は頻繁に確認し、日差しの強い日は、
車内の温度にも注意するようにしましょう。

8. 震災後、犬（猫）が前脚の同じ場所をなめ続けています。ストレスでしょうか？

皮膚に違和感があってなめることもあります。過剰になめ続けるのであれば、ストレスが原因である可能性もあります。

静かな場所、騒音がない場所へ移動して、逃げ込める場所を用意する。

ケージに布をかぶせて視界を遮り、眼や耳から入ってくる刺激を減らします。

避難中の飼い主様も落ち着かない毎日だと思いますが、いつも以上に声をかけたりスキンシップをして安心させてあげます。

大好きなおやつや食べ物を与えてみたり、普段と同じような遊びに誘ってみたりしてください。



トレーニングをしている犬であれば、いつもやっていたような「おすわり」「おいで」などあえてやらせてみて、いつもと変わらないことを伝えます。

猫の場合、いつも遊んでいた遊びに誘ってください。

猫じゃらしでもボールでもあそびに誘いますが、専用のおもちゃがなければ、新聞紙をちぎってボールにしたものを代用してください。

ストレス解消、暇つぶしによいでしょう。

また、過剰に舐めている行動が、不安からの行動である可能性もありますが、ケガなどして気になってなめている場合もあるので、そのような可能性があれば、なるべく直接舐められないように布などまいたりし、なめ壊して感染させないようにして、獣医さんに相談できるチャンスがあったら相談してみてください。

9. ミネラルウォーターは猫には悪いと聞きます。 人間も猫も飲めるお水があれば知りたいです。



水にもいろいろな種類があり、フランス産の、「硬い水（硬水）」などは、ミネラルが豊富なので、尿に石などできやすくなる可能性があるため、毎日飲むのは避けるように勧める先生も多いですが、日本のミネラルウォーター（ペットボトルの水）は問題ありません。また人用の水が足りない場合には、猫にお水を与えにくい状況もあるでしょう。そんな時には、水分含有量が多い、缶フードやパウチのフードを与えることで猫に水分をとらせるのも一案です。

10. 震災後、愛犬が飼い主の姿が見えなくなると、不安から吠えてしまうようになりました。ずっとそばにいるわけにはいかず、どうすればいいでしょう？

今は人間同様に、犬猫も不安で、心の支えであるご家族がいなくなってしまうと、不安から吠えていると考えられます。

もし一緒に避難されている方が面倒を見たり、一緒にいてくれるのであれば、お世話をお願いできるか相談してみてください。

もし避難所で吠えて迷惑をかけるような状態に陥り、車で連れていけるのであれば一緒に連れて行って、車内に置いておいて、人はご自身の用事を済ませることもできるかと思えます。



犬・猫の疎開（分散避難）を考えてもよいかもかもしれません。

人が復興のための作業でお忙しい間、被災していない地域に住む親せきや友人にペットをお願いするのもよいかと思えます。

犬猫は人の2歳児程度の知能を持つと考えられており、いろいろな環境の激変があった中で飼い主がそばからいなくなるのは本当に不安なのだと思います。

犬に「不安になるな」というほうが難しいので、ある程度一緒にいたり、しばらくの間、誰か（落ち着ける場所）に預けることも考えてみてください。

過去の大規模災害発生時にいただいたご質問や、ご心配について例にあげて、参考情報を提供させていただきました。

各々の事例にすべて当てはまる回答ではありませんし、非常時を応急的にしのぐための、イレギュラーな対策も含まれております。

命を守るために、適正飼養とは言えない内容もございますが、非常時に、これらの情報の一部でも飼い主様の参考になれば…、と考えて作成しています。

能登半島地震で被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げますとともに、被災地の復興と、人と動物とが穏やかに暮らせる日が、一日も早くくることを心からお祈りしております。



★飼い主様にもできる体調チェックの方法

簡単に体調をチェックできる方法をご紹介します。

脱水していないか確認する方法は、皮膚を指でつまんで、元に戻るまでの時間を観察します。

脱水している場合は、つまんだ状態のまま皮膚が盛り上がり、なかなかもとにもどりません。

また、脱水し唾液がでてなくて口の中が乾いていると、唇をめくったあとに、唇が歯茎に引っ掛かったままになります。

脱水かなと思ったら、お水は飲めているか、お食事は食べられているか、よく観察してください。

お水を飲んでいない場合はお水を少し温めて帆ませたり、すこし味をつけて飲ませてりしてみてください。



歯茎の色もバロメーターの一つです。

ピンク色ですか？

健康な状態であれば、歯茎を少し押すと白くなり、すぐにピンク色戻ります。歯茎が白い状態が続く時には貧血である可能性がありますので、獣医師に相談したほうがよいかもしれません。

もう一つの貧血の確認方法は、瞼の下を指でアツカンベーというように下げてみてください。

目の内側の皮膚がピンクではなく白くなっている場合は、貧血になっているかもしれません。

かかりつけの動物病院が診療していない場合、診察可能な近くの病院をインターネット等で探してみてください。

災害発生からしばらくたつと、巡回診療などの支援活動が始まりますので、避難所の掲示板はこまめにチェックしましょう。

道路状況やガソリンが入手できず、病院に行けない場合は、ホームドクターに連絡をし、相談してみてください。

